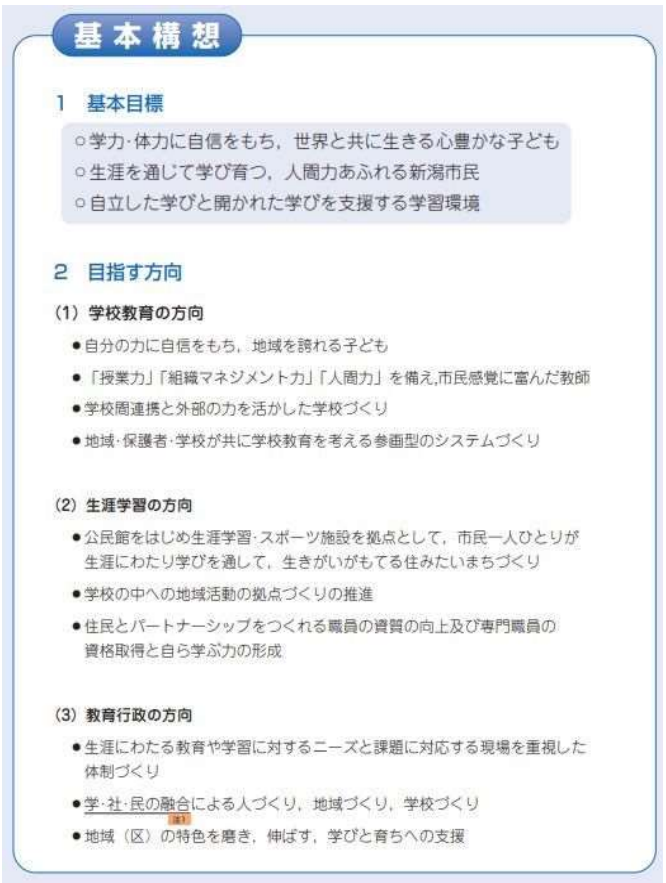
報告資料２－１

新潟市教育振興基本計画 ～にいがた学びのコンパス～ について

新潟市教育委員会　教育総務課

新潟市教育ビジョン（基本構想・基本計画）



基本構想

1　基本目標

○学力･体力に自信をもち，世界と共に生きる心豊かな子ども
○生涯を通じて学び育つ，人間力あふれる新潟市民
○自立した学びと開かれた学びを支援する学習環境

2　目指す方向

(1) 学校教育の方向

- 自分の力に自信をもち，地域を誇れる子ども
- 「授業力」「組織マネジメント力」「人間力」を備え,市民感覚に富んだ教師
- 学校間連携と外部の力を活かした学校づくり
- 地域･保護者･学校が共に学校教育を考える参画型のシステムづくり

(2) 生涯学習の方向

- 公民館をはじめ生涯学習･スポーツ施設を拠点として，市民一人ひとりが生涯にわたり学びを通して，生きがいがもてる住みたいまちづくり
- 学校の中への地域活動の拠点づくりの推進
- 住民とパートナーシップをつくれる職員の資質の向上及び専門職員の資格取得と自ら学ぶ力の形成

(3) 教育行政の方向

- 生涯にわたる教育や学習に対するニーズと課題に対応する現場を重視した体制づくり
- 学･社･民の融合[注1]による人づくり，地域づくり，学校づくり
- 地域（区）の特色を磨き，伸ばす，学びと育ちへの支援

政令都市新潟の学校教育・社会教育

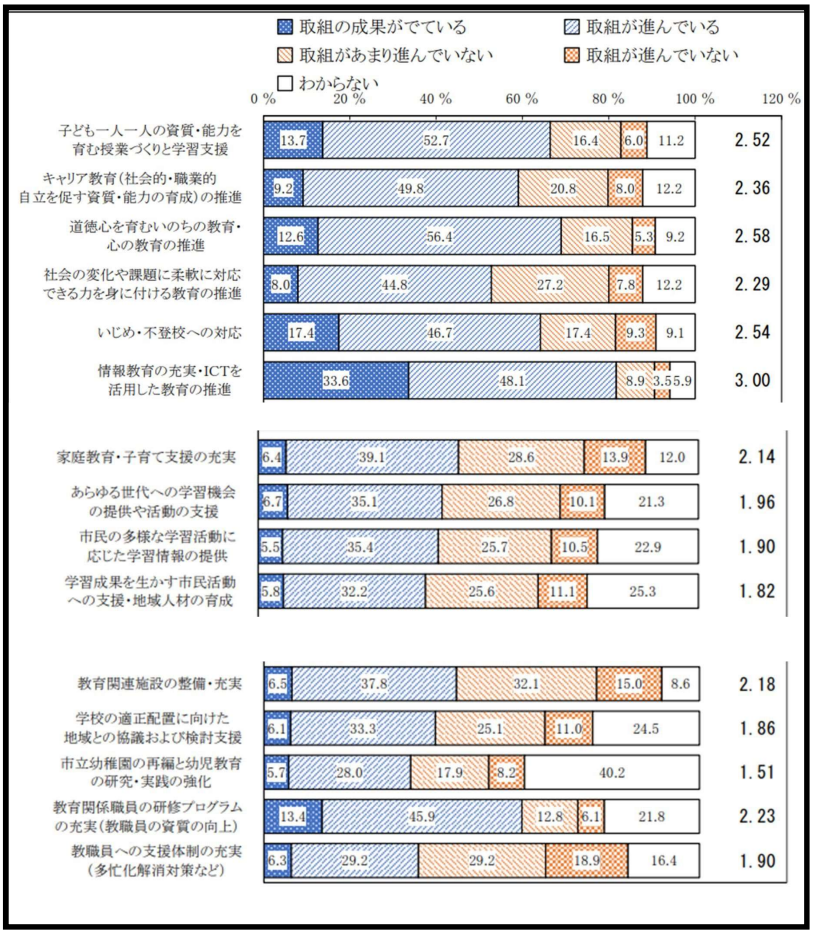
「学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり」

【コミュニティ・スクールのイメージ図】

農業体験学習「アグリ・スタディ・プログラム」（市）

新潟市芸術創造村・国際青少年センター「ゆいぽーと」（市）

設問2　これまで新潟市が推進してきた下記の各取組について、あてはまると思う番号に○をつけてください。
4. 取組の成果がでている　3. 取組が進んでいる　2. 取組があまり進んでいない　1. 取組が進んでいない　0. わからない



●「取組が進んでいる」と「取組の成果が出ている」の合計の割合が高い取組

・情報教育の充実・ICTを活用した教育の推進（81.7%）
・保護者や地域と連携した安心安全な学校づくりの推進（80.1%）
・地域と共にある学校づくりの推進（75.1%）

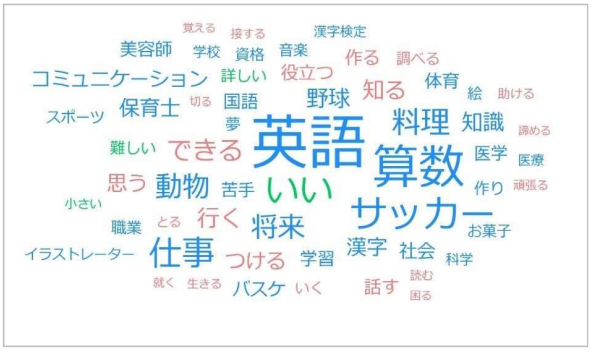
●「取組があまり進んでいない」と、「取組が進んでいない」の合計の割合が高い取組

・教職員への支援体制の充実（多忙化解消対策など）（48.1%）
・教育関連施設の整備・充実（47.1%）
・家庭教育・子育て支援の充実（42.5%）

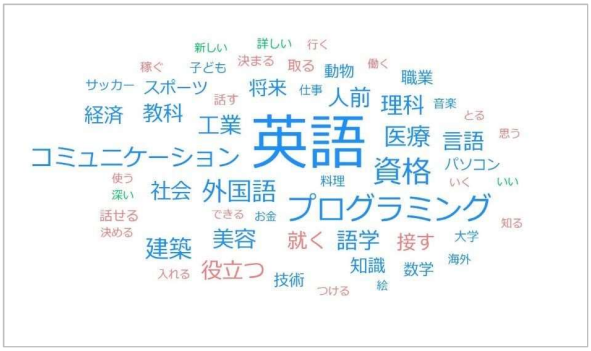
設問１　あなたが将来のために学びたいことや挑戦したいことは何ですか。

子ども向けアンケート　ワードクラウド図　　※出現回数が多い上位100位について作成　文字の色　**青：名詞　赤：動詞　緑：形容詞**

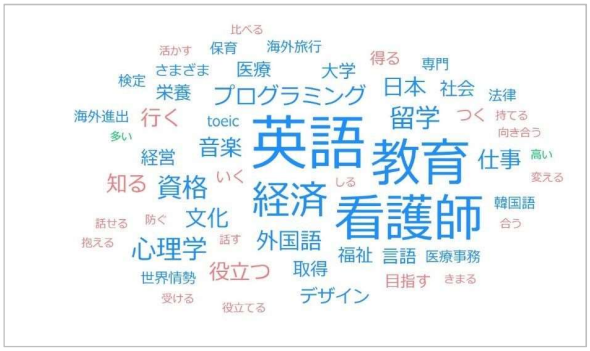
小学校６年生



中学校３年生

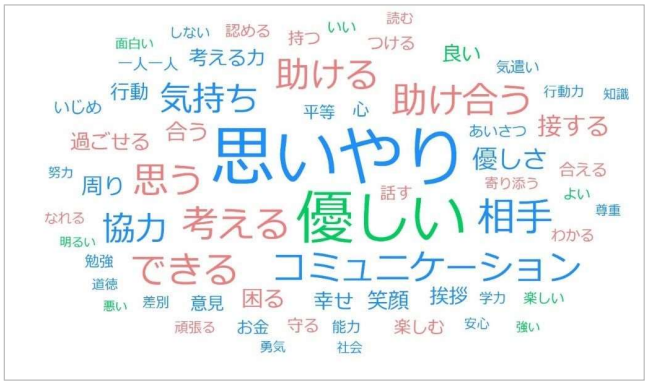


高校３年生

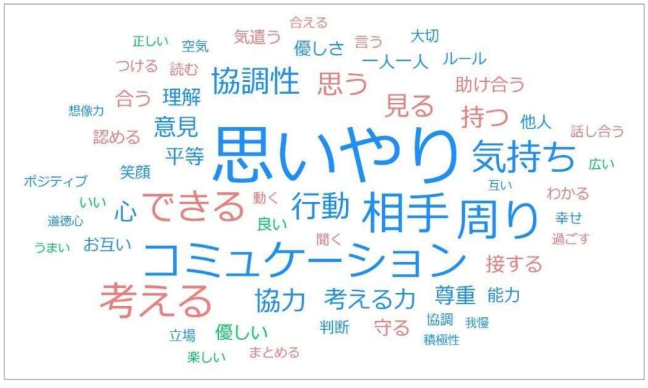


設問２　みんなが幸せに過ごすために、あたなはどのような力を身に付けるとよいと思いますか。

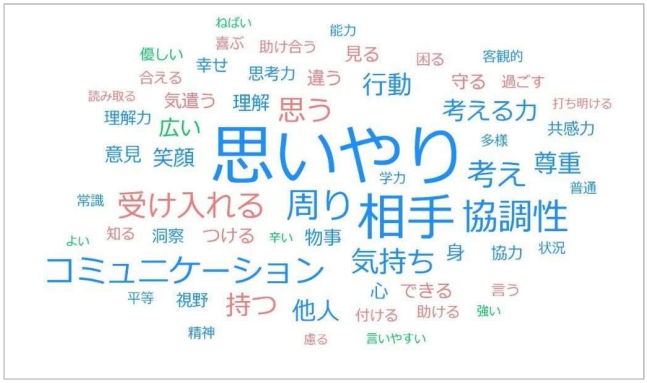
小学校６年生



中学校３年生



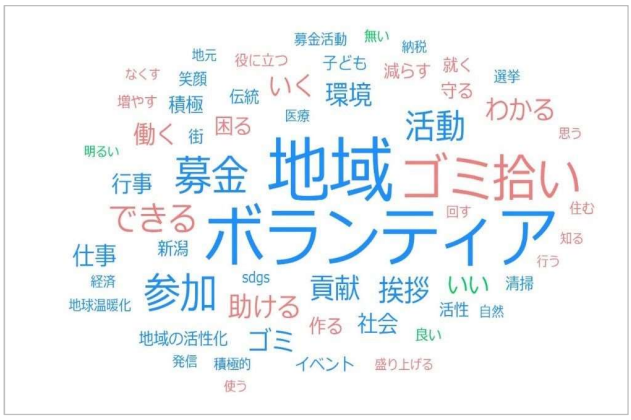
高校３年生



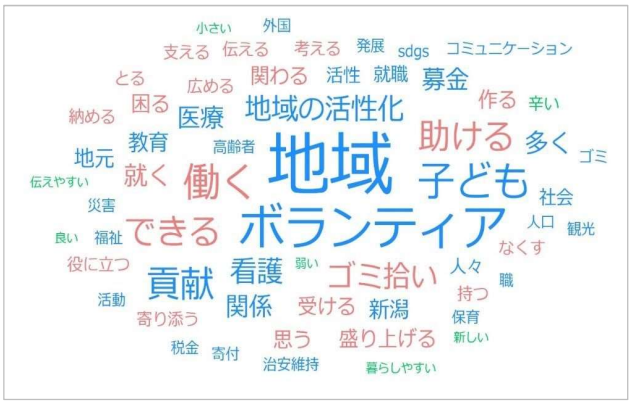
設問３　現在もしくは将来、あなたが地域や社会のために、貢献したいことは何ですか。

小学校６年生

中学校３年生

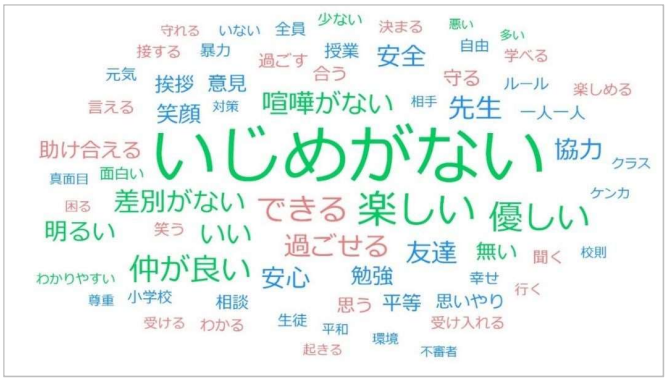


高校３年生

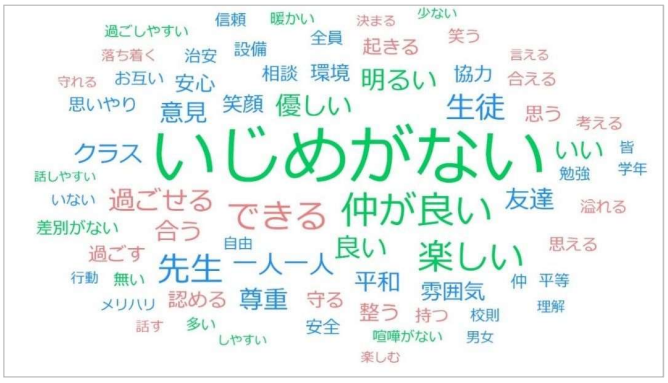


設問４　あなたが安心して過ごすことができる学校は、どのような学校ですか。

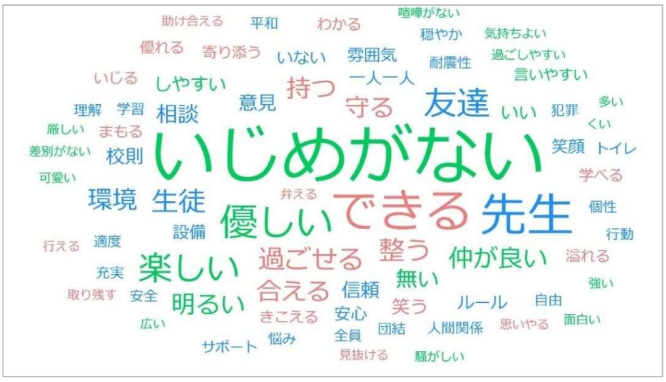
小学校６年生



中学校３年生



高校３年生



新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス～について

1　策定趣旨・位置付け・構成について

策定趣旨

本市は、平成18年に「新潟市教育ビジョン」を策定し、「政令市新潟」が目指すべき将来像を描く中で、次代の新潟を支え、世界に羽ばたく心豊かなこどもを育み、市民が生涯を通じて学び育つ社会づくりのための、教育の方向性とあり方を明確にしました。

少子高齢化の加速やグローバル化の更なる進展など社会を取り巻く環境が大きく変化する中において、これまでの成果や課題を踏まえ、**これからの新潟市の教育の方向性を示す**、新潟市教育振興基本計画を策定しました。

位置付け

教育基本法第17条第２項に規定されている**「地方公共団体が策定する教育の振興のための施策に関する基本的な計画」**として策定します。

国では、今後の教育施策の方向性を示す「第４期教育振興基本計画」が令和５年６月に閣議決定され、同計画を参酌しています。

構成と期間

令和７年度（2025年度）～令和14年度（2032年度）の８年間

…新潟市の教育が目指す**人間像**

…基本構想の実現に向けた**基本的な方向性**（基本方針・基本施策）

…基本計画を**具現化する**各種事業

2　教育を取り巻く現状と課題

教育を取り巻く状況

- **変化の激しい時代・グローバル化**の進展する社会
- **Society5.0時代**の到来
- 多様性を認め合い**ともに生きる社会**への意識の高まり
- **SDGs**（持続可能な開発目標）の推進
- 日本社会に根差した**ウェルビーイングの向上**
- 人生100年時代の到来と**循環型生涯学習**の推進
- 誰一人取り残されない学びの保障
- 将来への見通しをもつ児童生徒の減少

国の動向

- 第４期教育振興基本計画の策定
- 令和の日本型学校教育の推進
- 学習指導要領の改訂
- GIGAスクール構想等の推進
- 新しい時代の高等学校教育の実現に向けた制度改革等
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進
- こども基本法の施行及びこども家庭庁の創設とこども大綱

新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス～について

2　教育を取り巻く現状と課題

新潟市の強み

- **さまざまな困難を乗り越える力**
  - ・度重なる震災等に対し地域とともに復興
  - ・コロナ禍においても感染症対策と教育活動を両立
- **充実した地域の力**
  - ・地域の独自性等を尊重した住民自治
  - ・学校と地域が連携・協働したこどもの育成
- **人材輩出の下地**
  - ・全国平均を上回る学力と高等教育機関の集積
  - ・地域に息づく愛される文化・スポーツ

新潟市の教育施策の主な成果と課題

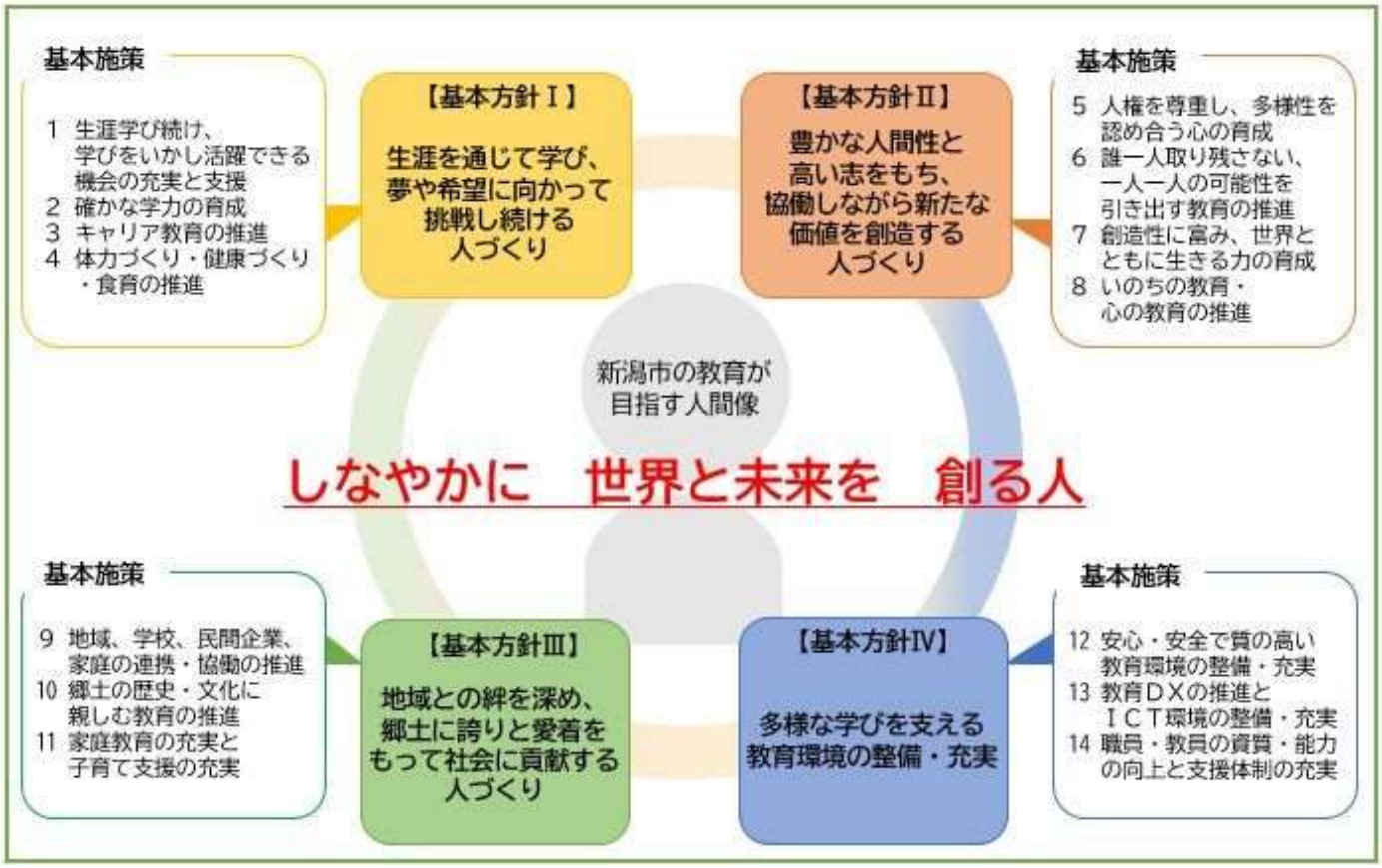
- 学校全体で支持的風土の醸成を図るなど、**こどもたちの自己肯定感を高める教育活動に努めてきた一方で、将来の夢や目標をもつこどもの割合が減少傾向にあるため**、支援体制の継続と強化が必要です。
- 生涯学習においては、**ライフスタイルに応じた学習機会の提供や、ボランティア活動の場を創出**するとともに、家庭教育支援においては、**親としての考える力や適応する力の向上**を図りました。一方、**ボランティアの高齢化や固定化といった課題**も見受けられます。今後は、多様な学習機会の提供や人材育成に取り組むとともに、学習成果を人づくり、地域づくりにいかす活動を支援していく必要があります。
- 保護者、地域、学校が一体となってこどもの成長を支える体制を構築し、肯定的で未来志向の話合いが行われたことで、**地域の未来を託せるこどもを育てる機運がより一層高まりました**。今後は、**社会教育と学校教育の連携により、こどもたちの成長を支えていく体制をより強固にしていく必要があります**。
- こどもたちが、安心して学びに向かうことができる環境整備に努めるとともに、自律性と社会性を育む生徒指導を推進したことで、**「自分や友達のよさを実感」するこどもたちの割合は高くなっています**。一方で、**不登校児童生徒の増加等の課題**があり、いじめ発生件数自体の減少を目指した取組の推進や不登校のこどもたちの学びの保障についての取組などをさらに推進していく必要があります。
- キャリアステージに応じた研修や喫緊の教育課題に対応した研修講座を実施することで、**教育関係職員の資質・能力の向上に寄与**することができました。今後は、**教育を行う幸せを実感できる環境づくりを含めた学校の働き方改革を進めていく必要があります**。

3　新潟市教育振興基本計画のコンセプト

- **生まれてから一生涯を見通した**幅広い視点で新潟市民の生活が心身ともに豊かになる教育
- **誰一人取り残さない**、一人一人の可能性を引き出す教育

新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス～について

4　基本構想・基本計画



新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス～について

基本方針1　生涯を通じて学び、夢や希望に向かって挑戦し続ける人づくり
　これからは、人生100年時代と言われています。このような時代においては、年齢を問わず学び続け、夢や希望に向かって挑戦し続けること、生涯学習を通じて自らを高めることが大切となります。そして、教養を高めることや自己実現を図るために学ぶこと、健康に関心をもつことなどは、生涯を通じたウェルビーイングの向上につながります。

基本施策1　生涯学び続け、学びをいかし活躍できる機会の充実と支援
市民の学習ニーズに応じた多様な学習機会の提供を進めるとともに、循環型生涯学習の推進に一層力を入れていきます。

施策指標	現状値（2023）	目標値（2032）
生涯学習活動で身に付けた知識や技能を、地域や学校、ボランティア活動にいかしている市民の割合	16.1%	22.0%
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していると肯定的に回答した児童生徒の割合	小6　76.7% 中3　71.7% （※）	小6　80.0% 中3　75.0%

※「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していると肯定的に回答した児童生徒の割合」の現状値は2022年の数値。

基本施策2　確かな学力の育成
児童生徒一人一人の学ぶ意欲を高め、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組を推進していきます。

施策指標	現状値（2023）	目標値（2032）
学ぶことが楽しいと回答した児童生徒の割合	現状値なし	小6　80.0% 中3　80.0%
学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりしていると回答した児童生徒の割合	小6　85.5% 中3　88.1%	小6　91.0% 中3　91.0%
学校で学んだことを普段の生活の中で役立てていると肯定的に回答した児童生徒の割合	小6　83.6% 中3　81.2%	小6　86.0% 中3　86.0%

基本施策3　キャリア教育の推進
児童生徒が自分らしく生きる資質・能力を育み夢や希望に向かって挑戦し続けることができるよう取組を推進します。

施策指標	現状値（2023）	目標値（2032）
将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合	小6　80.7% 中3　64.7%	小6　88.0% 中3　76.0%
総合的な学習（探究）の時間の中で、自分で課題を立てて情報を集め、整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した児童生徒の割合	小6　80.8% 中3　87.4%	小6　85.0% 中3　90.0%

基本施策4　体力づくり・健康づくり・食育の推進
自らの健康に関心をもち、生涯にわたって健やかに生きるための主体的な健康づくりができるよう支援します。

施策指標 （◆関連指標：市長部局で設定している指標）	現状値（2023）	目標値（2032）
「運動が好きですか」に対して肯定的に回答した児童生徒の割合	小5　90.4% 中2　81.9%	小5　92.0% 中2　88.0%
健康にすごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていると回答した児童生徒の割合	現状値なし	小6 90.0%以上 中3 90.0%以上
◆自分が健康だと思う市民の割合	75.7%	（※）

※新潟市総合計画2030において、中間目標（2026）は、「現状値を上回る」、最終目標（2030）は、「中間値を上回る」と設定されている。

新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス～について

基本方針1　生涯を通じて学び、夢や希望に向かって挑戦し続ける人づくり
　これからは、人生100年時代と言われています。このような時代においては、年齢を問わず学び続け、夢や希望に向かって挑戦し続けること、生涯学習を通じて自らを高めることが大切となります。そして、教養を高めることや自己実現を図るために学ぶこと、健康に関心をもつことなどは、生涯を通じたウェルビーイングの向上につながります。

基本施策1　生涯学び続け、学びをいかし活躍できる機会の充実と支援
市民の学習ニーズに応じた多様な学習機会の提供を進めるとともに、循環型生涯学習の推進に一層力を入れていきます。

施策指標	現状値（2023）	目標値（2032）
生涯学習活動で身に付けた知識や技能を、地域や学校、ボランティア活動にいかしている市民の割合	16.1%	22.0%
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していると肯定的に回答した児童生徒の割合	小6　76.7% 中3　71.7% （※）	小6　80.0% 中3　75.0%

※「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していると肯定的に回答した児童生徒の割合」の現状値は2022年の数値。

基本施策2　確かな学力の育成
児童生徒一人一人の学ぶ意欲を高め、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組を推進していきます。

施策指標	現状値（2023）	目標値（2032）
学ぶことが楽しいと回答した児童生徒の割合	現状値なし	小6　80.0% 中3　80.0%
学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりしていると回答した児童生徒の割合	小6　85.5% 中3　88.1%	小6　91.0% 中3　91.0%
学校で学んだことを普段の生活の中で役立てていると肯定的に回答した児童生徒の割合	小6　83.6% 中3　81.2%	小6　86.0% 中3　86.0%

生涯学習ボランティア育成事業

市民が生涯を通して学習した成果を人づくりや地域づくりに活かす循環型生涯学習を推進

「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習の推進事業

市民が生涯を通して学習した成果を人づくりや地域づくりに活かす循環型生涯学習を推進

新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス～について

基本方針2　豊かな人間性と高い志をもち、協働しながら新たな価値を創造する人づくり
　グローバル化が進展する社会において、様々な考えや価値観などに触れることが多くなります。そのため、市民一人一人がお互いを尊重し、認め合い、全員が社会に参画する機会があることを意識し、多様性のある社会を実現していくことが重要です。
豊かな人間性と高い志をもって、国籍を問わず、様々な考えをもつ人たちと協働しながら新たな価値を創造する力を育成することは、持続可能な社会を維持・発展させていくことにつながります。

基本施策5　人権を尊重し、多様性を認め合う心の育成
様々な違いを認め合い、互いの権利が尊重され、共生する社会の実現を目指した教育を推進します。また「いじめは、どの学校にも、どの学級にも、どのこどもにも起こりうる」という認識にたち、誰もが安心して過ごすことのできる学校づくりとなるよう進めます。

施策指標（◆関連指標）	現状値（2023）	目標値（2032）
自分や周りの人たちの個性や違いを認めたり、大切にしたりしながら生活していると回答した児童生徒の割合	現状値なし	小6　84.0% 中3　84.0%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うと回答した児童生徒の割合	小6　96.7% 中3　96.1%	小6 100.0% 中3 100.0%
◆自分や、周りの人の人権を意識しながら、生活している市民の割合	65.9%	（※）

※新潟市総合計画2030において、最終目標（2030）は、「70.0%」と設定されている。

基本施策6　誰一人取り残さない、一人一人の可能性を引き出す教育の推進
一人一人の個性を尊重し、多様な教育的ニーズに応じた教育環境の整備を進め、児童生徒が安心して学びに向かうことができる学校づくりや環境づくりを進めます。また「自分らしく学び成長する」特別支援教育を推進します。

施策指標	現状値（2023）	目標値（2032）
学校生活は楽しいと肯定的に回答した児童生徒の割合	小6　88.6% 中3　90.8%	小6　92.0% 中3　92.0%
特別な配慮を必要とする児童生徒に対する適切な支援や環境が整っていると回答した学校の割合	現状値なし	100.0%
学校内外の機関等から相談・指導等を受けた、または受けている不登校児童生徒の割合	小　94.9% 中　86.1%	小 100.0% 中 100.0%

基本施策7　創造性に富み、世界とともに生きる力の育成
歴史や文化、伝統などに対する理解を深めるとともに、広い視野をもって諸外国の人々と互いの文化、習慣、価値観などを理解し合い、信頼関係を築けるよう取組を進めます。

施策指標（◆関連指標）	現状値（2023）	目標値（2032）
外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思うと回答した児童生徒の割合	小6　76.0% 中3　67.2%	小6　80.0% 中3　71.0%
日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う児童生徒の割合	小6　82.0% 中3　63.9%	小6　86.0% 中3　68.0%
◆新潟市は国際的なまちだと思う市民の割合	18.2%	（※）

※新潟市総合計画2030において、最終目標（2030）は、「50.0%」と設定されている。

基本施策8　いのちの教育・心の教育の推進
社会のルールを守り、自信と誇りをもって生きることができる教育を進めます。

施策指標	現状値（2023）	目標値（2032）
自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合	小6　78.7% 中3　78.7%	小6　84.0% 中3　84.0%
困りごとや不安があるとき、いつでも相談できる人がいると回答した児童生徒の割合	現状値なし	小6　90.0% 中3　90.0%

新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス～について

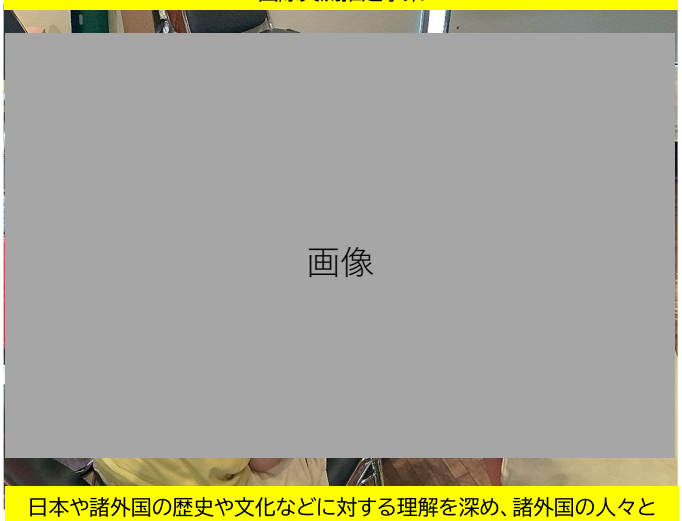
基本方針2　豊かな人間性と高い志をもち、協働しながら新たな価値を創造する人づくり
　グローバル化が進展する社会において、様々な考えや価値観などに触れることが多くなります。そのため、市民一人一人がお互いを尊重し、認め合い、全員が社会に参画する機会があることを意識し、多様性のある社会を実現していくことが重要です。
豊かな人間性と高い志をもって、国籍を問わず、様々な考えをもつ人たちと協働しながら新たな価値を創造する力を育成することは、持続可能な社会を維持・発展させていくことにつながります。

基本施策6　誰一人取り残さない、一人一人の可能性を引き出す教育の推進
一人一人の個性を尊重し、多様な教育的ニーズに応じた教育環境の整備を進め、児童生徒が安心して学びに向かうことができる学校づくりや環境づくりを進めます。また「自分らしく学び成長する」特別支援教育を推進します。

施策指標	現状値（2023）	目標値（2032）
学校生活は楽しいと肯定的に回答した児童生徒の割合	小6　88.6% 中3　90.8%	小6　92.0% 中3　92.0%
特別な配慮を必要とする児童生徒に対する適切な支援や環境が整っていると回答した学校の割合	現状値なし	100.0%
学校内外の機関等から相談・指導等を受けた、または受けている不登校児童生徒の割合	小　94.9% 中　86.1%	小 100.0% 中 100.0%

不登校・不登校傾向対策事業など、多様な児童生徒の学びを保障するための居場所づくりや安心して過ごせるための環境づくりの推進

国際交流推進事業



日本や諸外国の歴史や文化などに対する理解を深め、諸外国の人々と互いに信頼関係を築けるような教育を推進

基本施策7　創造性に富み、世界とともに生きる力の育成
歴史や文化、伝統などに対する理解を深めるとともに、広い視野をもって諸外国の人々と互いの文化、習慣、価値観などを理解し合い、信頼関係を築けるよう取組を進めます。

施策指標（◆関連指標）	現状値（2023）	目標値（2032）
外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思うと回答した児童生徒の割合	小6　76.0% 中3　67.2%	小6　80.0% 中3　71.0%
日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う児童生徒の割合	小6　82.0% 中3　63.9%	小6　86.0% 中3　68.0%
◆新潟市は国際的なまちだと思う市民の割合	18.2%	（※）

※新潟市総合計画2030において、最終目標（2030）は、「50.0%」と設定されている。

新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス～について

基本方針3　地域との絆を深め、郷土に誇りと愛着をもって社会に貢献する人づくり
本市においても、人口減少社会が到来し、首都圏へ人口が流出している課題に直面しています。
このような状況において、地域課題の解決につながる実践的な学びや歴史的・文化的な資源を継承し発展させる学びを通して、郷土への誇りや愛着、地域や社会へ貢献したいという意欲を醸成することが大切です。それが豊かな地域づくりにつながります。

基本施策9　地域、学校、民間企業、家庭の連携・協働の推進

学校と社会教育施設、家庭、地域をつなぐネットワークづくりをさらに進め、社会の変化に応じた教育活動の改善を進めるとともに、豊かな体験活動や多様な学習機会を児童生徒に提供します。

施策指標	現状値（2023）	目標値（2032）
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒の割合	小6　59.3% 中3　46.9% （※）	小6　70.0% 中3　58.0%
地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがあると回答した児童生徒の割合	小6　82.6% 中3　80.7%	小6　90.0% 中3　90.0%
学校と地域が協働して「地域とともにある学校づくり」をしていると回答した保護者の割合	現状値なし	90.0%

※「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒の割合」の現状値は2022年の数値

基本施策10　郷土の歴史・文化に親しむ教育の推進

本市の特徴の一つである農業を始め、新潟の歴史や文化などのすばらしさや地域の魅力に気付き、ふるさと新潟市への誇りや愛着、生きる力を培える取組を推進します。

施策指標（◆関連指標）	現状値（2023）	目標値（2032）
自分が住んでいるまち（地域）が好きですと回答した児童生徒の割合	現状値なし	小6　90.0% 中3　90.0%
地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合	小6　77.8% 中3　72.3%	小6　82.0% 中3　76.0%
◆新潟市に住み続けたい市民の割合	88.9%	（※1）
◆新潟市の農水産物などに対して誇りや愛着を持つ市民の割合	88.5%	（※2）

※1新潟市総合計画2030において、最終目標（2030）は、「90.0%」と設定されている。
※2新潟市合計画2030において、最終目標（2030）は、「90.0%」と設定されている。

基本施策11　家庭教育の充実と子育て支援の充実

子育て中の保護者も安心して学習できる機会や家庭教育に関する情報を提供するとともに、子育ての悩みを共有できる仲間づくりを進めるなどの取組を支援します。

施策指標（◆関連指標）	現状値（2023）	目標値（2032）
家庭教育に関する講座等で「今後にいかすことができる」と回答した参加者の割合	91.2% （※1）	100.0%
家庭で読み聞かせをしていると回答した保護者の割合	78.8%	90.0%
こどもの頑張りを認める姿勢を大切にしながら、こどものよいところを見つけて、ほめていると回答した保護者の割合	現状値なし	100.0%
◆新潟市は子育てしやすいまちだと思う保護者の割合	70.0%	（※2）

※1従来は、「家庭教育に関する講座」でのアンケートであったが、今後は「家庭教育に関する講座等」とするため参考値としている。
※2新潟市総合計画2030において、最終目標（2030）は、「80.0%」と設定されている。

新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス～について

基本方針3　地域との絆を深め、郷土に誇りと愛着をもって社会に貢献する人づくり
本市においても、人口減少社会が到来し、首都圏へ人口が流出している課題に直面しています。
このような状況において、地域課題の解決につながる実践的な学びや歴史的・文化的な資源を継承し発展させる学びを通して、郷土への誇りや愛着、地域や社会へ貢献したいという意欲を醸成することが大切です。それが豊かな地域づくりにつながります。

基本施策9　地域、学校、民間企業、家庭の連携・協働の推進

学校と社会教育施設、家庭、地域をつなぐネットワークづくりをさらに進め、社会の変化に応じた教育活動の改善を進めるとともに、豊かな体験活動や多様な学習機会を児童生徒に提供します。

施策指標	現状値（2023）	目標値（2032）
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒の割合	小6　59.3% 中3　46.9% （※）	小6　70.0% 中3　58.0%
地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがあると回答した児童生徒の割合	小6　82.6% 中3　80.7%	小6　90.0% 中3　90.0%
学校と地域が協働して「地域とともにある学校づくり」をしていると回答した保護者の割合	現状値なし	90.0%

基本施策11　家庭教育の充実と子育て支援の充実

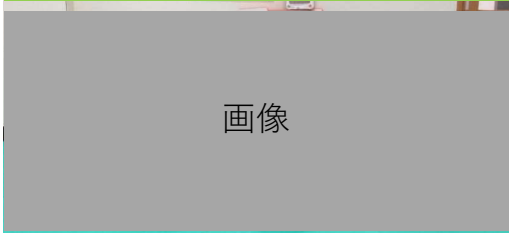
子育て中の保護者も安心して学習できる機会や家庭教育に関する情報を提供するとともに、子育ての悩みを共有できる仲間づくりを進めるなどの取組を支援します。

施策指標（◆関連指標）	現状値（2023）	目標値（2032）
家庭教育に関する講座等で「今後にいかすことができる」と回答した参加者の割合	91.2% （※1）	100.0%
家庭で読み聞かせをしていると回答した保護者の割合	78.8%	90.0%
こどもの頑張りを認める姿勢を大切にしながら、こどものよいところを見つけて、ほめていると回答した保護者の割合	現状値なし	100.0%
◆新潟市は子育てしやすいまちだと思う保護者の割合	70.0%	（※2）

地域とともにある学校づくり推進事業

学校と地域が連携して、こどもの学びと成長を支援

ブックスタート事業



乳幼児期からの家庭での読書習慣を形成するために、図書館と保育施設などが連携し、発達段階に応じた効果的な取組を推進

新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス～について

基本方針4　多様な学びを支える教育環境の整備・充実
　基本方針Ⅰ～Ⅲを実現するためには、安心して学びに向かうことができる環境が整っていることが大切です。
　そのためには、経済的な支援、就学支援、特別支援教育における学びの場の整備、安心安全な学びの場づくり、学びの機会の確保など、一人一人や家庭、地域の状況に応じた取組や学びに向かう土台となる教育環境の整備・充実が重要です。
　また、教育関係職員が、市民に信頼され、魅力があることが大切であるため、社会の変化や職員のキャリアを踏まえた研修を実施し、一人一人の専門性を高めるとともに、その力を十分発揮できるような体制を整備し支援します。

基本施策12　安心・安全で質の高い教育環境の整備・充実
経済的理由により就学の機会が失われることがないよう、教育機会の確保に向けての取組を進めることや、中学生が地域においてスポーツや文化芸術活動に継続して親しめるよう必要な環境整備を行っていきます。

施策指標	現状値（2023）	目標値（2032）
学校は安全で、安心して過ごしやすい環境であると回答した児童生徒の割合	現状値なし	100.0%
教育を受ける環境（学校以外も含む）が充実していると回答した保護者の割合	現状値なし	80.0%

基本施策13　教育DXの推進とICT環境の整備・充実
児童生徒が、学びのコミュニケーションツールとしてのICT機器の活用に向けて、指針や計画の作成、普及を図るとともに、必要な環境の整備、教職員研修の充実を図ります。

施策指標	現状値（2023）	目標値（2032）
学校生活において、PC・タブレットなどのICT機器を自ら活用して調べたり、自分の考えをまとめたりしていると回答した児童生徒の割合	現状値なし	小6　90.0%以上 中3　90.0%以上
ICTを活用した授業づくりを実践していると回答した教職員の割合	現状値なし	95.0%

基本施策14　職員・教員の資質・能力の向上と支援体制の充実
全ての教職員がいきいきとこどもたちと向き合うため、学校園と教育委員会、保護者・地域が一体となった教職員の働き方改革を推進します。

施策指標	現状値（2023）	目標値（2032）
主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善に取り組んでいると回答した教職員の割合	現状値なし	100.0%
充実して仕事に取り組めていると回答した教職員の割合	現状値なし	85.0%

新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス～について

基本方針4　多様な学びを支える教育環境の整備・充実
　基本方針Ⅰ～Ⅲを実現するためには、安心して学びに向かうことができる環境が整っていることが大切です。
　そのためには、経済的な支援、就学支援、特別支援教育における学びの場の整備、安心安全な学びの場づくり、学びの機会の確保など、一人一人や家庭、地域の状況に応じた取組や学びに向かう土台となる教育環境の整備・充実が重要です。
　また、教育関係職員が、市民に信頼され、魅力があることが大切であるため、社会の変化や職員のキャリアを踏まえた研修を実施し、一人一人の専門性を高めるとともに、その力を十分発揮できるような体制を整備し支援します。

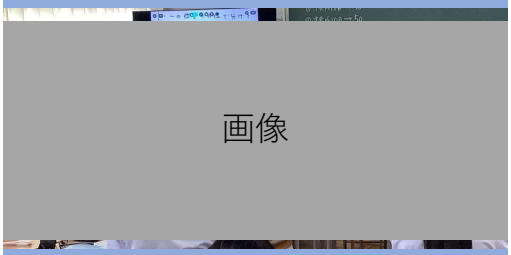
基本施策13　教育DXの推進とICT環境の整備・充実
児童生徒が、学びのコミュニケーションツールとしてのICT機器の活用に向けて、指針や計画の作成、普及を図るとともに、必要な環境の整備、教職員研修の充実を図ります。

施策指標	現状値（2023）	目標値（2032）
学校生活において、PC・タブレットなどのICT機器を自ら活用して調べたり、自分の考えをまとめたりしていると回答した児童生徒の割合	現状値なし	小6　90.0%以上 中3　90.0%以上
ICTを活用した授業づくりを実践していると回答した教職員の割合	現状値なし	95.0%

基本施策14　職員・教員の資質・能力の向上と支援体制の充実
全ての教職員がいきいきとこどもたちと向き合うため、学校園と教育委員会、保護者・地域が一体となった教職員の働き方改革を推進します。

施策指標	現状値（2023）	目標値（2032）
主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善に取り組んでいると回答した教職員の割合	現状値なし	100.0%
充実して仕事に取り組めていると回答した教職員の割合	現状値なし	85.0%

教育DX環境整備事業



環境の整備や教職員研修を充実

多忙化解消対策の推進

保護者や地域が一体となって
教職員の働き方改革を推進